

令和2年度 第1回 佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会

会 議 録

〔会議概要〕

日 時	令和2年7月3日（月） 午前10時から	
場 所	佐倉市社会福祉センター3階中会議室	
会議次第	1. 開会 2. 議事 (1) 副会長の選任について (2) 令和元年度佐倉市高齢者福祉の状況について (3) 令和元年度介護保険事業の実績について (4) 在宅介護実態調査の集計速報について (5) 第8期計画策定にかかる追加調査について (6) その他 3. 閉会	
出席委員 （11名）	会 長 岩淵 康雄（医師） 副会長 荒井 裕美子（社会福祉協議会） 委 員 石渡 孝（民生委員・児童委員） " 住吉 アキ子（ボランティア団体） " 川崎 順子（高齢者クラブ） " 大嶋 和俊（施設介護サービス事業者） " 大野 哲義（在宅介護サービス事業者） " 岡田 恭比呂（公募市民） " 椎橋 玲子（公募市民） " 松井 強（公募市民） " 石川 雅俊（学識経験者）	
欠席委員 （2名）	委 員 秤屋 尚生（歯科医師） " 根本 弘子（公募市民）	
事務局	福祉部長 丸島 正彦 高齢者福祉課長 田中 綾子 介護保険課長 向後 妙子 介護保険課 介護給付班長 副主幹 平岡 和美 介護認定班長 副主幹 植木 隆太郎 介護資格保険料班長 主 査 今川 真木子 高齢者福祉課 生きがい支援班長 副主幹 小田 賢治 包括支援班長 副主幹 佐久間 丈幸 包括ケア推進班長 主 査 須藤 克友 生きがい支援班 主査補 中川 佳奈 生きがい支援班 主査補 菅井 康成	
その他	傍聴者 1名	

〔発言要録〕

発 言 者	内 容
○高齢者福祉課長	<p>〔会議に先立ち、退任委員の補欠委員に対する委嘱状交付を実施。〕</p> <p>【 開会 】</p> <p>ただいまより、令和2年度第1回佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会を開会します。なお、本日、この会議室の使用は、正午までとなっていますので、あらかじめご了解ください。</p> <p>(配布資料を確認の後、介護保険課の分割設置及び人事異動を説明)</p>
○高齢者福祉課長	<p>【 事務局紹介 】</p> <p>4月の人事異動により異動のあった職員を福祉部長から順に自己紹介します。</p>
○福祉部長	<p>福祉部長の丸島です。推進懇話会の所掌は多岐にわたっていますが、委員の皆様にご意見をいただき反映していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(続いて、高齢者福祉課長、介護保険課長、包括ケア推進班長、介護資格保険料班長が自己紹介)</p>
○高齢者福祉課長	<p>これより議事となりますので、佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会設置要綱第7条第1項の規定に基づき、会長に議長をお願いします。</p>
◇会長	<p>【 議事開始 】</p> <p>規定により会長が会議の議長を務めることとなっていますので、これより私が進行します。</p>
◇会長	<p>【 会議の成立 】</p> <p>当懇話会設置要綱第7条第2項に「委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない」とあります。本日の出席委員は11名と委員の過半数が出席していますので、本日の会議は成立しています。</p>
◇会長	<p>【 会議の公開 】</p> <p>本日の会議の内容は、公開することにより公正・円滑な議事運営が阻害されるものに当たらないため、会議は公開とし、傍聴を認めることとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは、傍聴人入室いただきます。</p> <p>(傍聴人が1名入室)</p>

発 言 者	内 容
◇会長	<p>【 議事(1)】 「議事(1)副会長の選任について」事務局から説明をお願いします。</p>
○高齢者福祉課 (小田)	<p>寺田委員の退任に伴い、空席となった副会長を互選いただきます。僭越ですが、事務局から副会長候補者の提案をしてもよろしいでしょうか。 (「異議なし」の声あり)</p> <p>ありがとうございます。これまでも会長は医療部門、副会長は福祉部門から選出いただいていますので、引き続き副会長は福祉部門からが適切と考え、社会福祉協議会の荒井裕美子委員を副会長候補に提案します。</p>
◇会長	<p>副会長の互選について、荒井裕美子委員を副会長に選出することによりよろしいでしょうか。 (「異議なし」の声あり。委員全員拍手)</p> <p>では、「議案(1)副会長の選任について」は、全員一致で荒井委員が副会長に選出されました。荒井副会長、よろしくをお願いします。</p>
◇会長	<p>【 議事(2)】 次に、「議事(2)令和元年度佐倉市高齢者福祉の状況について」、事務局の説明をお願いします。</p>
○高齢者福祉課 (小田)	<p>「資料1 令和元年度佐倉市の高齢者福祉の状況」をご覧ください。 (以下、資料1を説明)</p>
◇会長	<p>ただいまの説明について、質問、ご意見はありますか。</p>
◇会長	<p>シルバー人材センターの会員数が3年間で約150人増え、5万5千人いる65歳以上の2パーセント程度です。これは良い数字なのでしょうか。</p>
○高齢者福祉課 (小田)	<p>分母の高齢者人口に対する割合としては低いと捉えています。公共施設へのパンフレット配架や、シルバー人材センターと共催するシルバーフェスタで多世代に向けて広報したり、ハローワーク成田や商工会議所とも連携しながらPRを行っています。今後、より一層の周知を図っていきます。</p>
◇A委員	<p>シルバー人材センターの男女別の会員数はわかりますか。</p>
○高齢者福祉課 (小田)	<p>申し訳ありませんが、いま手元に資料がありません。</p>
◇A委員	<p>次回で良いので、男女別の人数をお願いします。</p>

発言者	内容
◇B委員	4ページ4(1)②啓発事業で、わくわく体操会の開催支援が令和元年度は4団体と大きく減っていますが、どうして少なくなったのですか。
○高齢者福祉課 (須藤)	新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、開催が減ったものです。現在、わくわく体操会は補助を受けていないものも含めると60数団体を実施しています。ある程度広がってきているので、今後、新規団体の促進と併せ、既存団体の支援方法についても検討したいと考えています。
◇A委員	わくわく体操会の開催支援は新規団体に対するものだから、誤解されないよう新規団体数と明示した方が良いですね。
○高齢者福祉課 (須藤)	分かりました。
◇C委員	これらの数字をどう評価しているか。計画に対して、それをどう捉えているのか、報告書の位置付けとしては書かれないものなのですか。これでは数字は分かっても、読む人にはよく分からないですね。
○高齢者福祉課 (小田)	どんな要因があり、それを踏まえどうするのか等の整理は、成果的なものを含めてできていないと考えています。アウトカムの観点から指標を出し、事業の成果を説明できるよう、次の計画に生かせればと思っています。
◇D委員	5ページの(1)①配食サービスは、新型コロナウイルスの影響が出ますか。
○高齢者福祉課 (佐久間)	配食サービスは、見守りの中でやっています。見守りについては、各種サービスでも対応している現状です。
◇会長	増えていいと思いますが。
○高齢者福祉課 (佐久間)	対象者が亡くなった場合や、施設に入所すると配食サービスが適用されません。また、民間のサービスに変更する方もいますので、この数字になったものです。
◇D委員	この表は3月までなので新型コロナの影響は少なかったかも知れませんが、4月以降はどうなのでしょう。
○高齢者福祉課 (菅井)	配食サービスの対象は独居高齢者や高齢者のみの世帯の方で、自分で食事を作れない等の条件があるものなので、新型コロナの流行が直接すぐに影響することはありません。今後、コロナの影響で家庭の状況が変わって

発 言 者	内 容
	<p>くれば、配食を受ける方が増えると思われます。</p>
◇E委員	<p>配食サービスの対象者というのは、民間のボランティアグループが月に1回弁当を届けているのとは違う性質のものですよね。</p>
○高齢者福祉課 (佐久間)	<p>はい、違います。</p>
◇E委員	<p>そこはきちんと説明しないと。民間ボランティアの配食は、現在軒並みストップしていますが、市の配食サービスは利用者の生活に密着しているので、そうしたことに触れて説明していただきたかったと思います。</p>
◇会長	<p>【 議事(3)】 では、次に「議事(3)令和元年度介護保険事業の実績について」、説明をしてください。</p>
○介護保険課 (今川)	<p>令和元年度の介護保険料収納状況を説明します。「資料2-1 介護保険料収納状況」をご覧ください。 (以下、資料2-1を説明)</p>
○介護保険課 (平岡)	<p>令和元年度介護保険事業の実績について説明します。資料2-2をご覧ください。 (以下、資料2-2を説明)</p>
◇会長	<p>ただいまの説明に関し、ご意見ご質問があればお願いします。</p>
◇会長	<p>介護度が重い人、要介護4の人が増えていますが、希望しても入居できない、入居を待っている人はいませんか。</p>
○介護保険課 (平岡)	<p>入居待機者の中には、本来の目的からは外れていますが、短期入所を使って入所を待っているといった状況もあります。第7期計画どおりに施設の整備が進められていますので、これによって待機者への対応が進むものと考えています。</p>
◇E委員	<p>介護保険料の収納状況ですが、滞納の主な原因は何ですか。この滞納繰越額は、介護保険料全体から見て問題になる金額ではないとお考えですか。</p>
○介護保険課 (今川)	<p>滞納理由は、納付継続の意思が見られなかった、納付折衝ができなかった、死亡により徴収ができなかった等です。2年間納付がないと不納欠損となります。問題がないとは言えませんが、基本的に年金天引きなので保</p>

発 言 者	内 容
	<p>除料全体での徴収率が高いこともあり、また、欠損額も毎年度同程度を維持しており、概ね妥当と考えています。</p>
◇会長	<p>年金天引きなら、滞納は生じないのではないのですか。</p>
○介護保険課 (今川)	<p>特別徴収は年金天引きなので滞納は生じませんが、普通徴収では生活困窮により滞納が生じています。</p>
○介護保険課 (平岡)	<p>年金からの特別徴収は年金額が18万円以上の方が対象です。年金額が18万円に満たない方は自分で納付する普通徴収になるため、納付困難として滞納が生じやすい状況があります。</p>
	<p>【 議事(4)】</p>
◇会長	<p>次に「議事(4)在宅介護実態調査について」説明してください。</p>
○介護保険課 (植木)	<p>在宅介護実態調査の集計速報について、説明します。資料3をご覧ください。 (以下、資料3を説明)</p>
◇会長	<p>ただいまの説明に、何か質問ご意見はありませんか。</p>
◇A委員	<p>5ページの(9)は、これはあくまでも介護を受ける人の要望事項ですか。</p>
○介護保険課 (植木)	<p>在宅で介護サービスを受ける立場のものです。</p>
◇A委員	<p>買い物、ゴミ出し、通院同行、定期的な通いの場など、人とのコミュニケーションを取りたい需要があるのではないかと。年齢でばらつきがあると思うので、クロス集計に期待しています。見守り、声かけ、定期的な外と交流する場のニーズが高まっていると感じるので、結果に興味があります。</p>
○介護保険課 (植木)	<p>年齢別、男女別に詳しく見ていきたいと思います。</p>
◇C委員	<p>回答者の属性で、例えば13ページの重度の介護の割合が要介護度4、5合わせて9パーセントと限定的なので、今後、介護度別に分析をする上でサンプルバイアスができてしまうだろうと気になりました。今後の課題としては、数を確保していくというのもあるかと思いました。質問としては、7ページの(12)「訪問診療を利用していない」が85パーセントというのは要介護者が多いわりに割合が高いのが気になりましたが、何か要因があれば教えてください。</p>

発 言 者	内 容
○介護保険課 (植木)	前回を見てみると訪問診療を利用していないが87.2パーセント、利用しているが8.6パーセントなので、今回、増えてはいます。要因については、宿題とさせていただきます。
◇D委員	1ページの家族による介護の頻度が減っている要因は、アンケートから判断できるものはありますか。
○介護保険課 (植木)	まだ分析をしていませんが、家族介護の頻度が減っているのは、介護保険や保険外のサービス利用の結果、負担が減っていることが考えられます。
◇会長	(11)の本人が抱えている傷病については、複数回答ですね。直接、要介護、要支援になる疾病というのは、脳卒中など脳血管障害が多いのですが、何が要介護、要支援になったか要因の分析というのは。
○介護保険課 (植木)	要介護データの障害高齢者や認知症高齢者の日常生活自立度等と組み合わせると、そのあたりで分析もできるかと思います。他の要因で増えているのは、骨粗しょう症等の筋骨格系疾患で、前回17.9パーセントが今回は24.5パーセントに増えています。
◇B委員	3ページの(5)主な介護者の年齢で、20歳未満0.2パーセント、20代0.3パーセントと、かなり若い方が介護をしています。これは切実な問題。人口約17万5千人の佐倉市には350人程度いることになります。こうしたところに、目を当てる必要があるのではないか。若年層が介護するのは悲惨。こういう家族の実態を調査したことはありますか。
○介護保険課 (植木)	20歳未満の介護者は、前は0.7パーセントでしたが今回0.2パーセントと減少しています。介護認定申請に孫と祖父や祖母が連れだって来るのを時々見受けますので、若年層による介護はある程度あると思います。今回の調査では、実態把握はしていません。
○介護保険課 (平岡)	若年介護者の実態に絞ったアンケートは今までもありませんが、今後の課題としていきたいと思います。
◇会長	【議事(5)】 では、時間も少なくなりましたので、「議事(5)第8期計画策定にかかる追加調査について」、説明してください。
○介護保険課 (平岡)	資料4をお願いします。 (以下、資料4を説明。なお、別添2の2ページ、6の表中「職種」欄の

発 言 者	内 容
◇会長	<p>⑦「介護支援相談員」を「介護支援専門員」、⑧「主任介護支援相談員」を「主任介護支援専門員」に訂正。）</p> <p>ただいまの説明に対して、質問、ご意見はありますか。</p>
◇F委員	<p>(1)の事業所の参入意向調査は、施設長ですべて判断できるのか。書けないと放置されてしまいかねないから、判断が難しい場合等は、該当部署が回答をお願いします等としたほうが良いと思います。(3)の介護労働者の実態及び意識調査の対象の実務経験者が、事業所によって何人いるか把握できていますか。以前には厚生省からだったが、事業所に1、2部しか送ってこない。事業所にすれば誰に渡していいのか分からない。あるいは良いことを書く人しか渡さないことにもなる。配布部数の考慮と、施設長・責任者に対し、必ず従業員に渡してくださいということを申し伝えていただきたい。(2)介護人材の確保・定着に関する実態調査の対象は事業者ですけど、別添2の2ページ「人材確保に苦慮の理由」の「ア. 給与面の待遇が良くない」、「イ. 入職前の予想以上に業務内容がきつく…」、「ウ. 業務の中で精神的に負担になることがあり…」、「コ. 勤務時間が長い、残業が多い」、「シ. もっと好条件で募集している事業所があるため…」は、どちらかというに従業員、職員判断ですね。会社としては、給与面が良くないとは書きたくない。これは、厚生省のをモデルに作成したのですか。</p>
○介護保険課 (平岡)	<p>前回は懇話会にお諮りして、同じ内容で実施をしています。</p>
◇F委員	<p>「シ. もっと好条件で募集している事業所があるため…」は、実際に転職してしまうんです。余談ですが、介護福祉士に年収480万円を保証する事業所も既に現れています。ア、イ、ウは、事業所としては選びにくいので、もう少し文章を考えて欲しいと思います。</p>
○介護保険課 (平岡)	<p>1点目については、事業所でなく法人に対し行うこととします。2点目については、必ず対象者にお渡しくださいと手紙を入れ、事業所にお送りします。調査票の文言は「給与面の待遇が良くない」を「給与面の待遇に問題がある」などに見直しをしたいと思います。あまり大きく変えると経年変化が取れませんので、その点はご了承ください。</p>
◇C委員	<p>別添3の2ページ「どのような仕事をしていますか」(1)の介護職員という選択肢は、訪問介護員と介護職員はどう違うのですか。もう一つは、大きな話ですがコロナ対策。コロナがいつまで続くかということもあり、計画に落とし込むのが難しい。通所サービスを再開しているところもあるが、ニーズも結構変わっていくのかなという気がします。どのように変わ</p>

発 言 者	内 容
○介護保険課 (平岡)	<p>っていくかについて、考えはありますか。</p> <p>1点目、訪問介護員とは在宅介護のヘルパーを、介護職員は事業所内で従事している方を想定しています。2点目については、日々状況の変化がある中で検討が難しい状態ですが、感染症の影響を無視すべきではないと思うので、調査の対象や目的、実施の是非等を検討します。</p>
◇会長	<p>コロナは先行きが不透明ですが、アンケートの実施はいつになりますか。</p>
○介護保険課 (平岡)	<p>可能であれば、年内に固めて計画に反映したいと思います。</p>
◇B委員	<p>事業参入意向調査票は、事業者に対するものですよね。今まで2年間に行った公募のその後の経過はどうなっていますか。</p>
○介護保険課 (平岡)	<p>第7期計画では地域密着型、民間型を平成30年度、令和元年度に公募を行っています。特別養護老人ホームは、30年度公募分は基礎工事が終わっています。元年度公募分はこれから工事が始まります。グループホームと特定施設は順調に進んでおり、早いものは今年11月のオープンを目指し整備が進んでいます。</p>
◇B委員	<p>資料の中で平成28、29、30、令和元年度とありますが、市も国の会計年度に合わせているのですか。令和は5月1日からですが。</p>
○介護保険課 (平岡)	<p>国や都道府県、市町村も、会計年度は平成31年4月1日から令和2年の3月末までを令和元年度としています。</p>
◇会長	<p>【議事(6)】 その他について、事務局から何かありますか。</p>
○高齢者福祉課 (小田)	<p>次回の推進懇話会は、10月ごろ開催の予定です。議題は第8期計画の素案等を予定していますが、新型コロナウイルスの第2波の状況によっては、文書等での代替開催も考えていますので、よろしくお願いします。</p>
◇A委員	<p>私は介護予防の支援をしていますが、新型コロナの影響を危惧しています。介護を受けていない80代、90代の元気な高齢者が公民館等を使えない状況でめっきり筋力も気力も落としている。元気な高齢者が一気に弱ってくる可能性があるじゃないかと思います。市も初めてのことから難しいと思いますが、元気な人ほど差が出るのではないかと。特に、話し相手がいなくなるのが気力に影響しています。</p>

発 言 者	内 容
<p>◇会長</p> <p>○高齢者福祉課長</p>	<p>【 議事終結 】</p> <p>以上で議事はすべて終了しました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>【 閉会 】</p> <p>岩淵会長には、議長をお務めいただきありがとうございました。また、委員の皆様には、お忙しい中を会議にご出席くださりましてありがとうございました。これにて、令和2年度第1回佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会を閉会いたします。</p>